


地域振興の基本方針の位置付け	あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出					
プロジェクト名	あつみ温泉街の景観整備					
プロジェクトの目的	あつみ温泉の魅力の一つである「景観」のクオリティーの向上により、官民共通目標である「そぞろ歩きの楽しい温泉街」の到達度を高めます。					
プロジェクトの概要	開園から 50 年以上経過し老朽化が進んだ温海公園(あつみ温泉ばら園)を改修し、あつみ温泉の観光の拠点、市民の憩いの場としてリニューアルを進めます。また、桜並木の植替えや「かじか通り」等の劣化した休憩施設、照明設備、さらには朝市広場を観光客や地域住民の滞留拠点とするため、新たな足湯の整備や施設改修を行い、あつみ温泉街の景観整備を進めます。					
期待できる効果	景観整備により来訪動機が高まり、観光入込客の増加が期待できるとともに、地元商店街への経済効果が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	あつみ温泉ばら園整備事業 ばら園のリニューアル				
	(2)	温泉街景観づくり事業 桜並木の更新、街路灯の LED 化支援				
	(3)	朝市広場環境整備事業 店舗ブースの改修、足湯等の整備支援				


地域振興の基本方針の位置付け	あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出					
プロジェクト名	あつみ温泉街の賑わいづくり					
プロジェクトの目的	魅力ある店舗の創出や魅力ある集客イベントの開催により、あつみ温泉の集客力や知名度の向上を図ります。					
プロジェクトの概要	民間主導の集客効果の高いイベント開催を支援します。尚、2021 年と 2022 年は、あつみ温泉「開湯 1200 年」「庄内藩の湯役所設置 400 年」の節目の年になることから、地域の旅館・商店など関係者と協議しながら、地域が一体となったインパクトのあるイベントを開催し更なる誘客に努めます。 また、朝市広場を活用した日中の賑わいづくりや地元商店の自発的な取り組み並びに新規出店者への支援により、温泉街の賑わいを創出します。併せて、温泉街の魅力向上のため、ばら等の植栽を施し、そぞろ歩きの楽しい温泉街の整備に努めます。					
期待できる効果	温泉街を周遊する観光客の増加と旅館や飲食店等への経済的波及効果に加え、地域住民のまちづくり参加意識と連帯感の醸成が期待できます。 また、「食」に関する取組については、ユネスコ食文化創造都市としての住民意識の向上や質の高い食文化の認知度向上が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	あつみ温泉集客イベント実施事業 せせらぎの能、記念イベント開催支援				

	(2)	あつみフードPR事業 食を活かしたイベント開催支援				
	(3)	魅力ある店舗づくり事業 温泉街の空き店舗活用促進				
	(4)	温泉街フラワー整備事業 温泉街の花等の植栽活動支援				

地域振興の基本方針の位置付け	あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出					
プロジェクト名	魅力ある温泉観光地に向けた中長期戦略の検討					
プロジェクトの目的	あつみ温泉のあるべき将来像、目指す方向性を戦略的に展望し、魅力ある温泉観光地を目指します。					
プロジェクトの概要	あつみ観光協会や温海温泉旅館組合、地域住民、行政が連携し、あつみ温泉の中長期的な戦略策定を目指します。策定にあたっては、住民ワークショップやまちづくりアドバイザーの活用を図るとともに「新・湯治」も視野に入れ、官民共通認識のもと進めます。 ※「新・湯治」=平成29年7月に「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」により提言された、現代のライフスタイルにあった温泉地の過ごし方の提案					
期待できる効果	あつみ温泉の戦略を策定し将来計画を明確にすることで、観光客のニーズに的確に対応でき、観光入込客数の増加に繋がることが期待できます。 また、「新・湯治」の活用は新たな温泉の利活用が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	あつみ温泉観光戦略策定事業 あつみ温泉の中長期観光戦略策定に向けた官民連携の取組				

地域振興の基本方針の位置付け	日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化					
プロジェクト名	新「道の駅」を活用した地域振興					
プロジェクトの目的	日沿道の延伸により鼠ヶ関IC(仮称)周辺に建設が計画されている道路休憩施設(新「道の駅」)をフル活用した地域振興を目指します。					
プロジェクトの概要	新「道の駅」の経営に参画することも視野に入れ、マーケティング能力や経営の実践能力、管理運営能力を有する人材を育成します。					
期待できる効果	新「道の駅」のスムーズな運営や発展に加え、地域産物の販売促進による地域経済の活性化が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	新「道の駅」運営関連育成事業 マーケティング能力や経営の実践能力、管理運営能力を有する人材育成				


地域振興の基本方針の位置付け	日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化					
プロジェクト名	既存「道の駅」の有効活用に向けた検討と施設整備					
プロジェクトの目的	日沿道の延伸後において、新「道の駅」を拠点とし、既存「道の駅」も含めた鼠ヶ関周辺地域の観光まちづくりを進めます。					
プロジェクトの概要	日沿道延伸後に国道7号の交通量減少が予想されることから、既存「道の駅」のあり方や有効活用策を検討し、必要に応じて施設の整備を支援します。					
期待できる効果	温海地域の新たな観光目的地としての機能が期待できるとともに、施設を拠点に広域的な周遊観光が可能になります。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	道の駅「あつみ」しゅりん整備事業 日沿道延伸後の施設運営のあり方検討と施設整備				



地域振興の基本方針の位置付け	日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化					
プロジェクト名	鼠ヶ関地内の賑わいづくり					
プロジェクトの目的	みなとオアシスの構成施設となっている弁天島周辺エリアの環境整備により、鼠ヶ関に「人」を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進めます。					
プロジェクトの概要	<p>専門家、有識者を招聘したワークショップ等を開催し、浜茶屋周辺施設(公衆トイレ等)の再整備や恋する灯台の活用等を検討し、まちづくりの方向性を共有します。そのうえで必要な施設整備を進めます。</p> <p>※恋する灯台＝埋もれていた「灯台」の文化や歴史的価値を可視化し、各地域の強力な観光資源とするために、灯台を『恋する灯台』という恋愛の聖地として認定し再価値化するプロジェクト。鼠ヶ関灯台が認定を受けた。</p>					
期待できる効果	観光入込客数の増加により、賑わい創出と地域経済の活性化が期待できます。また、ワークショップ等の開催は、地域住民の一体感の醸成につながる事が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	はなさき路の賑わいづくり事業 弁天島周辺エリアの魅力向上に向けた取組				

地域振興の基本方針の位置付け	自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大				
プロジェクト名	交流人口の拡大による地域活性化				


プロジェクトの目的	地域内の宿泊施設や商店等の販売額増加による地域経済の活性化に加え、地域の伝統文化の保存継承や事業推進を通じた人材育成を図ります。					
プロジェクトの概要	<p>体験型旅行の受け入れ拡大や交流人口の拡大を目指す団体を引き続き支援するとともに、民泊(農泊)については、農家等の意向も考慮しながら受け入れ環境の整備を進めます。</p> <p>また、関川地区活性化計画の目標達成に向けて、しな織関係の売上増や交流人口の拡大を図るための取組を支援します。</p> <p>※関川地区活性化計画＝農山漁村振興交付金を活用した山村活性化を図るため、関川地区に地域資源活用施設を設置するにあたり、平成28年4月1日付けで「関川地区活性化計画」を策定した。内容は、関川地区の「しな織」を活用し、交流人口の拡大とともに地域産物(しな織関係)の販売額増加に取り組み、地域活性化を図るものである。</p>					
期待できる効果	地域団体毎に行ってきた体験型事業をネットワーク化することにより、地域全体を網羅した魅力的な着地型ツーリズムが構築され、旅行者の滞在時間の増加、消費行動の活発化による経済効果が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	あつみ体験旅行推進事業 教育旅行受入をはじめとする体験型観光の推進				
	(2)	関川地区活性化計画推進事業 交流人口の拡大としな織関連の地域産物販売額の増加				

地域振興の基本方針の位置付け	自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大					
プロジェクト名	関係人口拡大の仕組みづくり					
プロジェクトの目的	新たな「地域づくりの担い手」となる人材を温海地域に迎え入れることで、人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の総合的な活性化を図ります。					
プロジェクトの概要	<p>地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を関係人口として、関係人口の受け入れや活躍できる仕組みを構築します。</p> <p>手順としては、先進地視察やセミナー開催により地域住民の意識の醸成を皮切りに、ふるさと支援や情報交換を活発にする「プラットフォーム」の立ち上げとそれを運営する中間支援団体の育成を進めます。</p>					
期待できる効果	各自治会が関係人口を「地域づくりの担い手」として受け入れ、交流を進めることにより、地域の伝統文化や産業、安全安心な生活等の維持に加え、空き家活用なども含めた地域の総合的な活性化が期待されます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	温海地域支援ネットワーク推進事業 関係人口受入れを促進するプラットフォームの構築				

地域振興の基本方針の位置付け	農林水産資源のブランド化					
プロジェクト名	地域の食文化継承による地域振興					
プロジェクトの目的	古くから栽培されている在来作物等の継承や認知度向上により、生産者の所得向上と地域経済の活性化を図ります。					
プロジェクトの概要	当面は、焼畑あつみかぶと越沢三角そばの振興を目標とし、焼畑あつみかぶについては、2019年中のGI登録を目標にブランド力向上を支援し、越沢三角そばについては生産規模拡大を支援します。					
期待できる効果	トップブランドの地域特産品としての知名度に加え、地域の認知度向上が図られるとともに、在来作物等の保存継承、生産者の所得向上による地域経済の活性化が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	温海地域在来作物振興事業 食文化継承とブランド力向上を目指す取組支援				


地域振興の基本方針の位置付け	農林水産資源のブランド化					
プロジェクト名	高齢農業者の生きがいづくり					
プロジェクトの目的	少量多品目でも流通できる仕組みづくりや鳥獣による農作物被害を軽減する取組により、高齢農業者も生きがいを持って農業を続けられる環境整備を図ります。					
プロジェクトの概要	道の駅「あつみ」しゃりんの集荷システム強化や産直カー配備に対し支援するとともに、産直組織の一本化を視野に入れた検討を行います。また、鳥獣忌避作物の被害防止効果調査を実施するとともに、苗購入に対し支援します。					
期待できる効果	新「道の駅」における地域産物の販売体制や学校給食への安定供給体制が確立され、生産者の生産意欲の向上や所得の向上による地域経済の活性化が期待できます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	温海地域小ロット農産物集荷システム整備事業 地域内農産物の集荷システムの構築				
(2)	生産組織活動基盤強化事業 産直組織一本化と機能強化					

実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	ICTを活用した課題解決研究事業 ICT活用の情報伝達や生活支援の仕組み構築に向けた調査研究				

地域振興の基本方針の位置付け	次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化					
プロジェクト名	地域コミュニティの基盤強化					
プロジェクトの目的	広域的な活動や交流の拠点となっている施設の機能強化を図ることにより、広域コミュニティの活発化や地域コミュニティの維持振興を目指します。					
プロジェクトの概要	広域的な利用に供している施設(温海ふれあいセンター等)については、その活用方法や管理形態を見直したうえで、施設の躯体や設備等の長寿命化を実施し利用促進を図ります。					
期待できる効果	地域コミュニティの補完機能の発揮に加え、施設の長寿命化や市民需要に見合った施設利用が図られます。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022以降
	(1)	地域コミュニティ基盤強化戦略事業 広域的なコミュニティ施設の利用促進と機能強化				

地域振興の基本方針の位置付け	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備					
プロジェクト名	資源を活かした地域活力の創造					
プロジェクトの目的	温海地域内に存する遊休資産、特に廃校の利活用については、市場性の有無や実現性の高い事業スキームについて、想定される事業者との対話により検討を行い、その活用の実現を目指します。					
プロジェクトの概要	廃校等の活用事例の視察調査や条件整理等を通じて活用イメージづくりを進めます。併せて、遊休資産のサウンディング型市場調査を実施し、ノウハウを有する民間事業者との対話により施設の利活用手法を探ります。					
期待できる効果	地域内の遊休資産の有効活用が見込めるとともに、活用手法によっては、地域内雇用が期待されます。					

実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	遊休資産等利活用に向けた市場調査事業 廃校利用の検討と民間ノウハウ活用に向けた取組				

地域振興の基本方針の位置付け	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備					
プロジェクト名	地域に即した交通手段の確保					
プロジェクトの目的	地域に適した公共交通体系を構築することにより、今後増加が予想される交通弱者等の移動手段の確保を目指します。また、地理的要因により通学費負担が大きい高校生世帯を支援することにより、条件不利地であっても、地域を離れず将来にわたり暮らし続けられる生活環境の確保を図ります。					
プロジェクトの概要	<p>温海地域公共交通網形成事業については、現状分析や事例収集を通じて事業手法を検討し、集落懇談会等で地域住民とも対話しながら地域に適した公共交通網を構築します。</p> <p>高等学校等生徒通学費支援事業については、一定額以上の通学費を負担している高等学校等生徒保護者に対する支援を行います。</p>					
期待できる効果	<p>交通弱者等も利用しやすい公共交通網を整えることで、買物、通院等への負担が軽減され、住み続けられる生活環境が整備されるとともに、公共交通ネットワークの形成により、人口減少に対応した都市機能の集約化、効率化が図られます。</p> <p>また、高等学校等生徒通学費支援にあつては、地域外への人口流出（転出）の抑制、地域差による子育て世帯負担の軽減、通学利用による公共交通機関の利用率向上が期待できます。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2019	2020	2021	2022 以降
	(1)	温海地域公共交通網形成事業 地域に適した移動手段構築に向けた取組				
	(2)	高等学校等生徒通学費支援事業 一定額を超える通学費負担に対する支援				